



# 日耳鼻医会 FAXニュース

平成28年6月4日発行 第239号

## ◎平成28年度定時都道府県代議員会 ならびに総会の開催について

日時:平成28年6月26日(日) 午後1時～

会場:ベルサール八重洲2階(東京駅近く)

第1部 定時都道府県代議員会&総会 午後1時～2時半

【報告事項】平成27年度庶務報告および事業報告

【協議事項】(注:各号議案の“承認を求める件”を省略)

第1号議案 平成27年度収入支出決算について

第2号議案 平成28年度事業計画案について

第3号議案 平成28年度収入支出予算案について

第4号議案 定款文言の一部変更について

第5号議案 平成28・29年度役員選出について

第6号議案 平成28・29年度顧問委嘱について

第2部 講演 午後2時半～3時半

「睡眠パターンのインパクト:健康的な眠りとはなにか」

江戸川大学社会学部人間心理学教授 福田一彦先生

第3部 懇親会 午後3時半～5時(議案書は6月中旬発送)

## ◎熊本地震支援募金への協力御礼

4月25日、熊本地震で被害を受けた会員への支援募金  
のお願いを致しましたところ、5月末までに120名の方より  
総額480万円余を頂きました。全額を熊本県耳鼻咽喉科  
医会へ贈らせて頂きました。

### ◆災害支援募金の会計上の取扱について

今回の募金は税務上の寄付金等の控除対象とはなり  
ませんが、会費として損金算入が可能のようです。  
国税庁の法人税通達に以下のように記されています。

(災害見舞い金に充てるために同業団体等へ拠出する  
分担金等)

法人が、その所属する協会、連盟その他の同業団体等  
の構成員の有する事業用資産について災害により損失  
が生じた場合に、その損失の補填を目的とする構成員相互  
の扶助等に係わる規約等に基づき合理的な基準に従って  
当該災害発生後に当該同業団体等から賦課され、拠出  
した分担金等は、その支出した日の属する事業年度の  
損金の額に算入する。

詳しくは税理士にご相談下さい。

## お礼

熊本県耳鼻咽喉科医会  
会長 東家倫夫

このたびの地震に際して日本耳鼻咽喉科医会からお見  
舞いとお支援の声をお伝え頂き、心より感謝申し上げます。  
また、今回多額の義援金を頂き御礼申し上げます。

熊本地震では、4月14日午後9時26分 震度7、16日午  
前1時25分に震度7と2度の大きな揺れが観測され、ライ  
フラインの損傷をはじめ大きな災害が熊本市内と隣接す  
る東・南の地域で発生しました。会員である県内70医療施  
設のうち、建物被害は全壊や大規模半壊はなかったもの  
の、一部損壊が31施設、医療機器や機械の破損が27施  
設から報告されました。地震後の津波はなく、火災も多く  
発生せず、4月と比較的温暖的な時期であったこと、また夜  
間であったため診療施設内での人的被害もなかったこと  
は幸いだったと思っております。その後の繰り返される大  
きな余震があり、震度7が2回に続き、震度6が5回、震度5  
が11回、震度4以上の余震が100回を超え、震度1以上  
は1500回を超えており、不安を感じながらの日々を送りな  
がら復旧に努めてきました。

震災から1か月が過ぎ、日常生活は以前の状態に戻り  
つつありますが、甚大な被害を受けた方々はいまだ復興  
に追われております。当会員も困難な状況から地域医療  
に貢献すべく通常の診療に戻っております。

今後1か月から2か月の間に震度6弱の余震と別の地震  
が起こる可能性があるとのことで、「熊本地震 今後も警  
戒」、地震関連情報のテロップが終日NHK-TVでは流れ  
ております。

新たな被害が起こらない事を祈るばかりですが、いつで  
も、また全国何処でも起こる可能性がある事に、心づも  
り準備を怠らない事が今回の教訓と考えております。

日本耳鼻咽喉科医会と会員の先生方にお礼を申し上げ  
るとともに、今後の熊本の復興を見守って頂ければ幸  
いに存じます。

### ◇点数改正情報 事務連絡 疑義解釈資料(その2)

【検査・その他の検体採取】 (4月25日発)

(問)その他の検体採取の[6]鼻腔・咽頭拭い液採取につ  
いて、同日に複数検体の検査を行った場合、検査の検体  
ごとに算定は認められるか

(答)1日につき1回の算定となる。 厚労省保険局医療課

## ～～ 第41回臨床家フォーラム ～～ 「中四国フォーラムin下関2016」御案内

—草莽崛起(そうもうくつき)—

日時:平成28年9月18日(日)・19日(月・祝)

会場:海峡メッセ下関 (山口県下関市豊前田町3-3-1)

開会:午後1時(受付は正午より)

分科会:9月18日(日) 午後1時15分～5時30分

①補聴器をめぐる現状と未来 -耳鼻科医はどう対応

するか?-名古屋市 関谷耳鼻咽喉科 関谷芳正先生

②越境性微粒子が健康に及ぼす影響

国立病院機構 福岡病院アレルギー科 岸川禮子先生

③頭頸部超音波検査の臨床

鳥取大学耳鼻咽喉科 福原隆宏先生

④専門医としての耳鼻咽喉科・頭頸部外科開業医

大分市 佐藤クリニック 佐藤公則先生

懇親会:午後6時～

全体集会:9月19日(月・祝)午前9時～12時10分

①小児難聴と言語療法士の雇用に関して

山口市 ののはなクリニック 兼定啓子先生

②臨床に役立つ内耳基礎研究

山口大学耳鼻咽喉科教授 山下裕司先生

③一般講演 市民公開講座

「死」について考えてみませんか

下関市 光風園病院 副理事長 木下牧子先生

※案内冊子は7月中旬発送予定です。

Santen

抗アレルギー点眼剤 【薬価基準収載】 製造販売元 参天製薬株式会社  
**アレジオン®点眼液0.05%**  
 ALESION® Ophthalmic Solution 0.05%  
エピナスチン塩酸塩点眼液 大分市北区大塚町4-20  
 資料請求先 医薬事業部 医薬情報室  
 提携 日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社  
 東京都品川区大崎2-1-1  
 ©無断転載禁止  
 2014年11月9日版 AL14K00852W.A

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会  
 〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F  
 TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228  
 HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail [jimu@jenti.or.jp](mailto:jimu@jenti.or.jp)  
**当会へのご意見ご要望ご提案をお寄せ下さい**